

## 視覚障がいについてのお話を聞きました。



盲学校の岡島先生に来ていただき視覚障がいについてお話を聞きました。岡島先生は盲学校でマッサージや鍼灸を教えていらっしゃいます。クイズを通して、障がいについてさまざまなことを教えてもらいました。特に、心に残ったのは、「障がいは、多くの方が便利に使えるものを便利に使うことができないこと」ということです。障がいがある人も便利に生活できる社会にするために、点字や音声通訳、デジタル、スロープやエレベーターなどがあるのです。これは、「バリアフリー（かべをなくすこと）」のために必要なことですが、バリアは心の中にもあります。自分とはちがう立場の人のことを考えることが、みんなが楽しく便利にくらすために大事だと分かりました。

お話を聞いた後には、自分たちにはどんなサポートができるかを考えました。「どんなときも、どんな相手でも、思いやっていきたい。」「何かお手伝いしましょうかと、声をかけていきたい。」という意見が聞かれました。障がいがある人に対してだけでなく、みんなに優しくなれる、温かい気持ちになれました。